

上田市スマートシティ化推進計画

基本方針① ICTの利活用による市民サービスの向上 個別施策ロードマップ

基本施策(1) 行政手続のオンライン化の推進 ※重点的項目

個別施策	No.	主な取組	内容	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	担当課	
①	電子申請手続の利用促進	1 「ながの電子申請サービス」の各種手続への利用拡大 新たな電子申請とキャッシュレス決済の導入	・市民がアンケート調査の回答や講座・イベントなどの申込を、オンラインで行えるよう「ながの電子申請サービス」を充実	順次、利用拡大					◎情報システム課 行政管理局	
			・税金、料金など公金収納のキャッシュレス決済を導入	導入	運用					◎情報システム課 行政管理局 会計課 (交流文化芸術センター)
			・交流文化芸術センターにてチケット販売のキャッシュレス決済を導入	検討/導入	運用					
		・来庁せずにスマートフォンなどで証明書交付発行の申請手続ができるサービスを導入	調査/検討	導入	運用					
2	「公共施設予約システム」の利用拡大	・スポーツ施設以外へ「公共施設予約システム」の利用拡大	ヒアリング	Web環境調査	検討	導入			情報システム課 ◎スポーツ推進課	
		・「公共施設予約システム」のシステム更改				検討				
②	マイナンバーカードの利用促進	3 マイナンバーカードの普及促進	・予約制休日交付の実施、拡充	月2回実施/拡充検討					行政管理局 ◎市民課 情報システム課	
			・交付予約システムの運営	予約制窓口の実施						
			・豊殿、塩田、川西地域自治センターに統合端末等を設置、マイナンバーカード申請・交付事務を開始	端末設置/運用開始						
			・官公庁や企業への出張受付の実施、商業施設等での取得促進キャンペーンの実施	検討/実施						
		4 マイナンバーカードで証明書が取得できる交付サービスの拡大	検討	利用申請	導入					◎行政管理局 市民課 情報システム課
5	マイナポータルを活用したオンライン申請の拡大	・マイナポータルの「子育て」サービスの拡充、「介護」サービスでの活用	拡充/活用					◎行政管理局 市民課 情報システム課		
		・マイナポータルの新たな分野(福祉分野・住民サービス分野等)における電子申請の活用			拡充/活用					
③	ICTを活用した窓口改善	6 タブレット端末などのICTを活用した窓口改善	情報収集/検討	業務フロー整理	準備/導入	運用			◎市民課 人権男女共生課 障がい者支援課 (行政管理局)	
		7 各窓口において多言語音声翻訳機などの導入	障がい者支援課窓口で導入	他課窓口での検討/導入		全市的な導入検討/導入			市民課 人権男女共生課 ◎障がい者支援課	

基本施策(2) ICTの利用拡大、デジタルデバイド対策

個別施策	No.	主な取組	内容	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	担当課	
④	ICTを活用した情報発信	8	・Webアクセシビリティに配慮したホームページなどの作成 ・多様な情報発信手段を活用した情報提供	・市ホームページの適切な情報更新、アクセシビリティチェック、職員研修	適切な情報更新、アクセシビリティチェック、研修				◎広報シティプロモーション課	
			・多くの市民に情報が届くよう、SNS、You Tube等、多様な情報手段での情報発信	多様な情報発信手段の活用						
			・ホームページシステム構築の検討		課題検討／情報収集		契約／データ移行／運用開始			
		9	ICTツールを活用した市民と行政がつながる双方向コミュニケーションの仕組みづくり	・ホームページ、メール配信等の既存媒体の活用	既存媒体の活用				◎広報シティプロモーション課	
			・ICTツール・双方向型となり得る媒体の活用	情報収集		検討／活用				
⑤	伝達手段のICTを活用した多様な発信、災害避難情報	10	・ICTを活用した防災情報の収集などの一元化 ・複数の伝達手段に一斉に情報発信を行う総合防災情報システムの整備	・総合防災情報システムの導入	導入	システムの見直し			◎危機管理防災課	
				・総合防災情報システムの運用	職員研修、操作訓練、防災訓練					
		11	既存の伝達手段を活用、災害情報伝達手段の更なる多様化・多重化	・Lアラート、メール配信等の既存システムの活用	活用／見直し				◎危機管理防災課	
			・新システムの調査、検討	調査／検討						
⑥	公衆無線LANの整備	12	指定避難所への公衆無線LANの整備	・指定避難所に指定されている公民館・地域自治センター等に公衆無線LANの整備	西部・城南・上野が丘・丸子・真田中央公民館、健康プラザ、豊殿地域自治Cに整備	南庁舎・図書館に整備	順次整備			◎情報システム課 危機管理防災課 生涯学習・文化財課
		13	生涯学習施設などへの公衆無線LANの整備	・生涯学習施設等に公衆無線LANの整備						◎情報システム課 危機管理防災課 生涯学習・文化財課
		14	スマートフォンやタブレットを生涯学習施設などで利用できるよう市民への学習機会の提供	・スマートフォンなど、デジタル活用に不安のある高齢者等の解消に向けた講座の開催	検討	講座開催				◎情報システム課 危機管理防災課 生涯学習・文化財課

基本施策(3) ICT教育・ICT社会における人材育成

個別施策	No.	主な取組	内容	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	担当課
⑦	ICT教育における人材育成	15	オンライン教育、プログラミング教育など、教員が効果的にICT機器を上手に使えるようICT活用能力向上のための支援	・教員のICT活用能力の向上のための研修の充実	研修の充実				情報システム課 ◎学校教育課 生涯学習・文化財課
				・GIGAスクール構想に対応してICT支援員を増員し、教員を支援	支援員増員	支援			
		16	・児童・生徒、保護者に対する情報機器の使用法の調査・指導 ・出前講座など外部講師による情報モラルの啓発と情報リテラシーの習得	・児童・生徒等に対し情報機器の使用法のアンケート調査	アンケート実施				情報システム課 学校教育課 ◎生涯学習・文化財課
			・児童・生徒や家庭を対象に、情報モラルや情報リテラシーをテーマとしたリーフレット作成、普及	リーフレット作成、普及					
			・PTAや地域を対象に、情報モラルや情報リテラシーをテーマとした学習会の開催	学習会の開催					
⑧	ICT人材教育における	17	市民誰もが新たなICTを活用できるよう学習支援の充実	・ICTの環境整備	中央公民館での整備	運用			情報システム課 ◎生涯学習・文化財課 商工課
				・ICTを活用した学習機会の検討、促進	調査／検討	講座等の開催			
		18	AI・IoTなどの最先端技術を活用できるICT技術者の育成	・技術研修センターを活用したワークショップ等のIT技術者人材育成事業	実施	検証、継続実施、フォローアップ			情報システム課 生涯学習・文化財課 ◎商工課

基本方針② 行政データの有効活用と業務改善 個別施策ロードマップ

基本施策(1) AI・RPAなどの最先端技術活用による業務改善 ※重点的項目

個別施策	No.	主な取組	内容	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	担当課
⑨ AI・RPAなどの技術の活用	19	審議会や委員会などの議事録作成を支援するシステム導入	・ 審議会や委員会などの議事録作成を支援するAI文字起こしツールの導入	実証/検証	導入	運用			◎情報システム課
	20	AIチャットボットの導入による市民からの簡単な問い合わせの自動化	・ AIチャットボットの導入	情報収集/検討		導入	運用		◎情報システム課
	21	RPAを活用した業務の自動化推進	・ 業務の効率化を図るためRPA導入	情報収集/ヒアリング	試行的導入	段階的に導入			◎情報システム課
			・ Excel等の既存ツールを活用した業務の効率化	既存ツールの活用					
⑩ 業務のデジタル化、ペーパーレス化の促進	22	タブレット端末などを活用したペーパーレス会議の導入	・ 段階的にモバイルパソコン等を導入し、ペーパーレス会議を実施	庁議、議会で導入・運用	利用者拡大、各種会議で導入				◎情報システム課 ◎行政管理課 ◎総務課
	23	各種業務のデジタル化の推進とシステム化が進んでいない分野の研究	・ 各種業務のデジタル化・ペーパーレス化	研究/検討					◎情報システム課 ◎行政管理課 ◎総務課
			・ 各種業務における電子決裁の導入	文書管理システムの電子決裁の検討・導入	その他業務について情報収集/研究/検討				
			・ 押印見直しに伴う行政手続のオンライン化	各種業務における押印見直し	オンライン化の研究/検討				
⑪ Web会議の活用と働き方改革	24	テレワークの実現に向けたセキュリティが確保されたネットワークの環境整備	・ 職員テレワーク用パソコンを試行的に運用	運用		検証/検討			◎情報システム課 ◎総務課
	25	職員が庁舎間を移動することなく、また、市民も自宅などいながら会議等にWeb参加ができる環境整備	・ 新本庁舎、南庁舎、地域自治センターに無線LAN環境を整備	本庁舎、武石地域自治Cに整備	南庁舎、丸子・真田地域自治Cに整備				◎情報システム課 ◎総務課
			・ 庁内向けWeb会議システムを導入	導入	利用促進				

基本施策(2) 行政データの有効活用

個別施策	No.	主な取組	内容	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	担当課	
⑫ オープンデータ化の促進	26	市の保有するデータのオープンデータの最新化及び拡充を図る	・市ホームページに公開中のオープンデータの最新化	最新化、更新					◎広報シティプロモーション課	
	27	国の定める「推奨データセット」の優先的な活用の検討	・「観光施設一覧」をオープンデータとして市ホームページに拡充（追加） ・市の保有する公共データを毎年度1分野ずつオープンデータとして市ホームページに拡充（追加）	追加	毎年度1分野ずつ追加					◎広報シティプロモーション課
⑬ デジタルアーカイブ化と活用	28	地域の歴史的・文化的遺産などのデジタルアーカイブ化による活用・発信	・市ホームページに公開されている文化財マップのリニューアル ・未掲載文化財の追加	公開	情報収集、更新					◎生涯学習・文化財課 総務課 観光課 情報システム課
	29	歴史資料として重要な公文書のデータベース化、閲覧による利用促進	・デジタルアーカイブ閲覧システム（仮称）の導入	情報収集／検討	事務手順の確認／導入	運用			◎生涯学習・文化財課 総務課 観光課 情報システム課	
⑭ 地理情報システムの活用	30	各業務で保有する地理情報を集約、活用しやすい地理情報システムの運用	・統合型GISの航空写真の撮影、更新 ・外出先におけるタブレットによる地理情報システム利用	業者選定	撮影／更新	段階的に導入			◎情報システム課	
	31	民間の地理情報サービスの活用も含め、行政情報を公開できる環境整備の検討	・公開型GISの導入	ワーキンググループで検討	導入／運用					◎情報システム課

基本施策(3) 情報システムの標準化・最適化

個別施策	No.	主な取組	内容	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	担当課
⑮ クラウドサービスの活用促進	32	各業務システムの更新時にクラウドサービス利用及び共同利用を検討	・基幹系システムの更新時に、クラウドサービス利用及び共同利用	情報収集／検討	業務フロー整理	業者選定／システム調達	運用		◎情報システム課
⑯ 業務標準化の推進	33	基幹系情報システムの標準仕様書に準拠したシステム導入のため、事務手順の見直し、帳票などの標準化	・標準仕様書に準拠したシステム導入及び「Gov Cloud」への移行	情報収集／検討	業務フロー整理	業者選定／システム調達	運用		◎情報システム課

基本方針③ スマートシティ化への挑戦と転換 個別施策ロードマップ

基本施策(1) AI・IoTを活用した安全・安心な地域づくり

個別施策	No.	主な取組	内容	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	担当課
公共交通の 利便性向上	34	公共交通機関の運賃のキャッシュレス決済の推進、バスロケーションシステムの導入検討	・QRコード決済実証事業の推進 第1弾：民間資金による実証 ①上田バス・菅平高原線 ②上田電鉄・別所線	実証事業	実証継続 評価検証 社会実装検討		社会実装		◎交通政策課 丸子建設課 真田建設課 武石産業建設課 商工課 観光課 政策研究センター
			・QRコード決済実証事業の拡充 第2弾：長野県企業局交付金事業 ③他のバス路線への拡充	実証事業					
			・QRコード決済アプリによる バスロケーションシステムの検証	実証事業					
			・他社システムによる バスロケーションシステムの検討	情報収集	システム比較検討	社会実装			
	35	公共交通機関の利用者の乗降調査におけるAIカメラ等活用検討	・民間事業者からの情報収集 ①AIカメラによる乗降調査 ②新型コロナウイルス禍におけるリアルタイム混雑情報提供システムの導入検討	情報収集	実証事業（補助事業活用）	実証事業	社会実装		◎交通政策課 丸子建設課 真田建設課 武石産業建設課 政策研究センター
			・事業者プレゼン等による システムの比較検討	システム比較検討					
	36	AIオペレーションシステム機能を備えたデマンド交通の導入検討	・丸子・武石地域の交通再編検討 まりんこ号、武石デマンド交通の再編検討（丸子地域協議会及び丸子まちづくり会議の合同調査研究）	再編検討・AI活用検討	再編事業の実施	社会実装			◎交通政策課 丸子建設課 真田建設課 武石産業建設課 政策研究センター
			・しなの鉄道沿線MaaSの推進 UDC信州との連携による、上田・東御・小諸のワイナリーなどの周遊MaaS実証事業	導入検討	実証事業				
			・地域住民主体によるオンデマンドタクシー等の実証事業の導入検討の支援	導入検討	実証事業				
	37	グリーンスローモビリティ（時速20km未満で公道を走る電動自動車）などの電気自動車の導入検討	・グリーンスローモビリティの実証事業の実施 R3：公共施設・観光拠点 R4：観光地 R5：公共交通空白地域	実証事業導入、評価検証 地域ヒアリング、社会実装検討	社会実装	社会実装			◎交通政策課 丸子建設課 真田建設課 武石産業建設課 生活環境課 商工課 観光課 都市計画課 政策研究センター
			・ゼロカーボン、電動自動車の利用促進・普及啓発 ①1人乗り電動自動車（信州観光バス）の利用促進・普及啓発 ②青パト等の普及啓発	ゼロカーボンの普及啓発、電動自動車の利用促進					
			・シェアサイクル実証事業の連携 ①上田市シェアサイクル推進協議会の実証事業との連携（R3～R5） 2年目以降、別所線沿線での実証事業の調整 ②電動三輪車シェア・キックボード等の調査研究、実証事業	①No.43都市計画課シェアサイクル事業との連携	②情報収集、実証事業検討				

基本方針③ スマートシティ化への挑戦と転換 個別施策ロードマップ

基本施策(1) AI・IoTを活用した安全・安心な地域づくり

個別施策	No.	主な取組	内容	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	担当課
⑰ 公共性交通上の利	37	グリーンスローモビリティ（時速20km未満で公道を走る電動自動車）などの電気自動車の導入検討	<ul style="list-style-type: none"> EV充電施設の普及推進 ①アリオ上田の普及啓発 ②上田 道と川の駅への設置検討 	情報収集	システム比較検討	公共施設への導入検討			◎交通政策課 丸子建設課、真田建設課 武石産業建設課 生活環境課 商工課、観光課 政策研究センター
	38	災害の危険性の高い河川などでのライブカメラや水位計による管理の効率化、水門の自動開閉装置の導入を検討	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の危険性を早期に把握し情報を発信するため、ライブカメラ（動画）を設置 設置後の検証と他箇所への検討 	設置	検証・他箇所への設置検討				土木課 土地改良課 ◎丸子建設課 危機管理防災課 政策研究センター
			<ul style="list-style-type: none"> 「災害時におけるケーブルビジョン放送及びラジオ放送の要請に関する協定」を締結している丸子テレビ放送(株)への画像の放映提供 		運用				
		<ul style="list-style-type: none"> 幹線用排水路の水門電動化及び監視装置の導入による浸水被害の防止 		事業化準備	水門電動化・監視装置 工事			水門電動化・監視装置 運用	
⑱ 安全な暮らしを支える防災・インフラ管理	39	地理情報システム（GIS）とドローンを活用し、河川災害の要因となる河川構造物の調査と河川状況の整理を行い河川カルテを作成	<ul style="list-style-type: none"> 河川災害の要因となる河川構造物の調査・整理・登録 ①ドローン等による調査 ②調査結果のデータ整理 ③データの地図情報システム（GIS）への登録 	調査 データ整理 データ登録	調査対象河川構造物は、年度計画により継続調査を実施 データ整理・登録も都度実施				◎土木課 危機管理防災課 政策研究センター
			<ul style="list-style-type: none"> ドローンと地図情報システムを活用した河川カルテの運用 		運用				
40	武石地域などの中山間地域において、農業・公共交通・エネルギー・医療など、生活全般にわたってICTの導入を進める	<ul style="list-style-type: none"> 民間資本の活用を視野に入れた小水力発電の導入 ①大堰水路（武石小学校敷地付近）と地域内の沢をはじめとする設置場所の選定 ②武石観光センターでの実証実験 ③発電した電力を公共施設や武石小学校児童の環境学習に生かすなど活用を検討 	情報収集	情報収集 分析検討	導入準備	運用開始		◎武石地域自治センター （地域振興課・産業建設課） 政策研究センター	
		<ul style="list-style-type: none"> 災害時等のドローン活用とトラクター等の自動運転に向けた実証事業の実施（共通の位置情報補正システムの活用） ①有識者、関連団体、メーカー等からの情報収集 ②3Dマップの作製 ③ドローン飛行ルートの地元説明 ④農業関係者への情報共有等 ⑤実証実験の効果検証 ⑥運用開始、全市への発信 	情報収集・ 実証実験に向けた調整	実証実験・効果検証		運用開始			◎武石地域自治センター （地域振興課・産業建設課） 政策研究センター

基本方針③ スマートシティ化への挑戦と転換 個別施策ロードマップ

基本施策(2) AI・IoTを活用した生産性向上・産業振興

個別施策	No.	主な取組	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	担当課	
①9 滞在型観光の推進	41	ビックデータの有効活用、観光客の移動傾向の分析による効果的な観光誘客	現状分析 戦略策定	効果検証 戦略策定		プロモーション展開		◎観光課 政策研究センター	
		・観光マスタープラン策定 ①ビックデータを活用した観光動態調査 ②観光客、移住者等に対する意識調査 ③基礎調査を基にマスタープランを策定		基礎調査	マスタープラン策定				
	42	観光用移動ツールとして、グリーンスローモビリティなどの低速モビリティの実証実験を市内観光地において検討	№37に掲載						◎交通政策課 商工課 観光課 政策研究センター
	43	市民や観光客の移動手段として、利用者の移動データの把握・分析にもつながる電動自転車によるシェアサイクルの導入検討	推進協議会の設立 (R3) (関係団体等による推進協議会を設立し社会実験を実施)	設立	実証実験 情報収集・分析・検討	導入準備	社会実装	観光課 商工課 交通政策課 交流文化スポーツ課 ◎都市計画課 生活環境課 政策研究センター	
44	市内温泉地などにおいてワーケーションを推進する	上田市技術研修センター改修工事 (レストランエリアをコワーキングスペースへ)	改修工事	ワーケーション推進プログラムの造成・実施			観光課 ◎商工課 政策研究センター		
		ワーケーション推進のソフト事業 歴史、文化に加え、アウトドアアクティビティ等ワーケーションと相性の良いコンテンツを含めたプログラムを官民連携で造成・実施							
		温泉旅館等宿泊施設内のコワーキングスペースの普及促進		サテライトオフィス開設事業補助金等の活用促進					

基本方針③ スマートシティ化への挑戦と転換 個別施策ロードマップ

基本施策(2) AI・IoTを活用した生産性向上・産業振興

個別施策	No.	主な取組	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	担当課	
⑳ 商工業の振興による地域経済の活性化	45	製造業の生産性向上を目的とするIoTなどの導入支援 市内中小企業をモデルとした導入事例の研究やセミナーの開催、設備導入に係る経費への支援		講演会・セミナー等の実施					◎商工課 政策研究センター
		・企業経営者や専門家等による講演会、セミナーの実施(年2-3回) (実施主体:上田市中小企業DX推進検討協議会)							
	46	コミュニティ活動や地域経済の活性化を図るため、デジタル地域通貨の実証実験を行い、その効果を検証	・IoT導入支援補助金による地元企業の先端技術導入支援(地方創生交付金事業【R2~R4】)年5社程度に支給	設備導入に係る支援					◎商工課 政策研究センター
			・まちのコイン上田「もん」の推進 ・もんマーケット上田(ECサイト)の推進	普及促進					
			・デジタルコミュニティ通貨実証実験の検証(認知度調査、満足度調査等)	評価検証					
			・検証結果により実証実験の継続実施を判断 ・実装に向けた課題整理・改善 ・他事業との連携実施の研究	普及促進・再検証・発展性の研究					
	47	市内駐車場のキャッシュレス化について、利用者のニーズや費用対効果も踏まえながら、ユニバーサルなシステムの導入可能性を検討	・検証結果により正式運用を判断				正式運用開始		◎商工課 管理課 都市計画課 政策研究センター
			・地元商工団体・商店街等との意見交換(年2回程度)	意見交換					
			・サービス提供事業者(ベンダー等)との意見交換	地元の意見を踏まえ、適宜意見交換					
			・商店街における駐車場キャッシュレス化実証実験				実施に向けた各種調整等による支援		

基本方針③ スマートシティ化への挑戦と転換 個別施策ロードマップ

基本施策(2) AI・IoTを活用した生産性向上・産業振興

個別施策	No.	主な取組	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	担当課
②1 人と自然を守るスマート農業・林業	48	センシング技術を活用して、温度や湿度などの環境情報を自動で計測、蓄積、生育情報と組み合わせるなど、農産物の栽培管理技術の向上に向けた実証実験を検討	センシング対象の『重点品目』を決定	実証実験		センシング本格導入		◎農政課 農産物マーケティング推進室 森林整備課 丸子産業観光課 真田産業観光課 武石産業建設課 商工課 政策研究センター
		・JA信州うえだ(生産者団体など)と連携し、上田地域で重点的に生産振興に取り組む作目及び栽培方法の検討及び決定 ・生産振興計画の策定と人・農地プランへの位置づけ						
		・上田市農業支援センターと連携し、市内農家を対象に重点項目の実証試験ハウス(トライアル)の設置 ・センシング技術などを活用することによる高収益・高品質・省力化などの検証						
		・きゅうりの選果作業をアシストするためのAI選果システムの構築	プロトタイプ開発	実証実験		運用		
		・JA信州うえだ、上田農業農村支援センターと連携し実証試験(トライアル)を検証 ・スマート農業に係る営農指導体制の構築 ・市内農家への普及・啓発活動の実施			関係機関・団体による実証試験の検証(PDCA) (情報共有体制の構築)			
					スマート農業に係る営農指導員の育成			
					研修会・意見交換会等の開催			
	49	水田台帳の整備や管理に当たり作業の省力化と正確性の向上を図るためのタブレット端末による現地確認システムの導入	タブレットの導入と水田台帳の整備 (アンマッチデータの整理・水田台帳の整備)					◎農政課 農産物マーケティング推進室 森林整備課 丸子産業観光課 真田産業観光課 武石産業建設課 商工課 政策研究センター
		・地元役員との現地確認の実施		地元役員との現地確認の実施				
		・市内全域での市職員などによるタブレットを使用した交付金の交付対象水田現地確認の実用化		タブレットを活用した 交付対象水田の現地確認実用化				
		・農林水産省共通申請サービス(emmaff)への対応(R5年度から) ・経営所得安定対策交付金 ・中山間地域農業直接支払交付金 ・環境保全型農業直接支援対策交付金	農林水産省共通 申請サービス (emmaff)との連携調整		農林水産省共通申請サービス(emmaff)の開始			
		・人・農地プランの実質化及び実践に係る使用方法の検討 (遊休荒廃農地の把握) (農地の現況図の作成) (重点品目(作物)の栽培計画の策定などに活用)			人・農地プランの実質化及び実践に向けた活用			

基本方針③ スマートシティ化への挑戦と転換 個別施策ロードマップ

基本施策(2) AI・IoTを活用した生産性向上・産業振興

個別施策	No.	主な取組	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	担当課	
②1 人と自然を守るスマート農業・林業	50	<p>松くい虫による松枯れ被害対策として、ドローン空撮の画像解析による被害木本数の計測などの実証実験を実施し、最先端技術による作業効率化の可能性を検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上田市有林をフィールドとして、ドローン空撮・画像解析による被害木本数の計測などの実証実験の実施 ・協力企業による実証実験成果の発表 ・実証実験成果の検証（正確な被害木把握の成否、被害量把握の成否等） ・実装段階に向けての費用対効果の検証（調査費用の妥当性の検証） ・実装段階に向けた庁内協議（調査の正確性等判断、調査費用妥当性等の検討） ・事業継続にかかる最終判断（各種検証により運用開始か否か判断） 	ドローンによる実証実験	実証実験成果検証ほか	庁内協議	運用開始	農政課 農産物マーケティング推進室 ◎森林整備課 丸子産業観光課 真田産業観光課 武石産業建設課 商工課 政策研究センター		
	51	<p>有害鳥獣駆除用罾の見回り負担を軽減、LPWA（低消費電力・長距離無線通信技術）回線の活用により、罾に設置したセンサーを通して、捕獲時に関係者にメール発報するシステムを構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣捕獲先端技術導入事業（わなセンサー導入事業）の実証事業実施（わなセンサー計200台（R3:60台、R4:80台、R5:60台）導入、センサー反応精度及び電波状況の検証、メール発報システム及び捕獲報告システムの構築等） ・実証事業成果の検証（センサー反応精度及び電波状況の検証、各システムの構築状況の検証） ・実装段階に向けての費用対効果の検証（わなセンサーランニングコストの検証ほか、費用対効果妥当性の検証） ・実装段階に向けた庁内協議（費用対効果及びランニングコスト負担先に係る妥当性の検討、事業規模拡大にかかる検討） ・実装事業開始（猟友会＝鳥獣被害対策実施隊による運用開始） 〈実証事業導入のわなセンサー200台について、実装運用を開始〉 	鳥獣捕獲先端技術導入事業	メール発報システム	捕獲報告システム	実証実験成果検証ほか	庁内協議	運用開始	農政課 農産物マーケティング推進室 ◎森林整備課 丸子産業観光課 真田産業観光課 武石産業建設課 商工課 政策研究センター
	新	<p>AI技術やドローンの活用による果樹園等における鳥追い払いシステムの開発と検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥動画像のカメラでの捕捉、レーザー光照射、超音波スピーカやドローンによる威嚇など、鳥が嫌う刺激パターンの調査研究と、全自動追い払いシステム開発、検証 ・鳥追い払いシステム開発のための圃場での実証実験 	調査研究	システム研究・実証実験	運用開始			農政課 農産物マーケティング推進室 丸子産業観光課 ◎政策研究センター	

基本方針③ スマートシティ化への挑戦と転換 個別施策ロードマップ

基本施策(3) AI・IoTを活用した医療・福祉サービスの充実

個別施策	No.	主な取組	内容	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	担当課	
⑫ 地域で安心して医療が受けられる環境づくり	52	市内の企業や医療機関などと連携し、実証フィールドの提供などを通じて、血糖値、血圧、心拍などのバイタルサインを測定できる軽量で装着可能な装置の開発を支援	・市内の企業や医療機関などと連携し、データ収集のための実証フィールドの提供	医療機関・介護施設等と連携・支援					◎商工課 健康推進課 政策研究センター	
			・血糖値、血圧、心拍などバイタルデータの収集・分析支援	医療機関・介護施設等と連携・支援						
			・血糖値をウェアラブルで測定できる生体計測システム（軽量で装着可能な装置）の開発支援			製品開発支援・販路開拓支援				
	53	利用者の利便性の向上を目指し、上田市健康づくりチャレンジポイント制度のデジタル化を検討	・全国自治体の中でデジタル化されている健康ポイント制度の情報収集	情報収集					◎健康推進課 政策研究センター	
			・費用対効果、メリット・デメリットなどの研究 ・複数業者によるデモ ・デジタル化の意志決定	研究・デモ						
			・プロポーザル等を実施し業者選定 ・システム構築、運用開始			システム構築 運用開始				
	54	「働きざかり世代」「子育て世代」も含めた幅広い世代に対して健康づくりをアピールする、健康づくり応援アプリの機能向上と利用促進	・利用者の機能更新要望の収集 ・アプリのグループ機能を活用したウォーキングイベントの実施	情報収集					◎健康推進課 政策研究センター	
			・利便性向上のための継続的な機能更新（ウェアラブル端末との連携、新規ウォーキングコースの追加等）	機能更新						
	55	医療機関等が出張して実施している市民向け公開講座について、オンライン化の環境を整えるための支援検討	・市民向け公開講座を実施している医療機関の把握 ・現在は実施していないが、環境が整えば市民向け公開講座を実施したいと考えている医療機関の把握	医療機関への意向調査						◎地域医療政策室 政策研究センター
			・市民向け公開講座実施のため、オンライン環境を整えることを希望する医療機関の把握	医療機関への意向調査						
			・対象医療機関への財政支援	予算措置・財政支援						

基本方針③ スマートシティ化への挑戦と転換 個別施策ロードマップ

基本施策(3) AI・IoTを活用した医療・福祉サービスの充実

個別施策	No.	主な取組	内容	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	担当課	
③ 地域で支え合う福祉の推進	56	高齢者や障がいのある方など要援護者データの更新や閲覧を迅速に行うため、ICTを活用した仕組みの導入を検討	・他自治体における導入状況の情報収集 ・ICT導入・活用事例の相談	情報収集・相談						◎福祉課 障がい者支援課 高齢者介護課 政策研究センター
			・関係課へヒアリング、庁内会議の実施 ・導入についての検討	情報収集・庁内会議検討						
			・民間企業によるICT活用による「住民支え合いマップ」等の情報収集 ・他自治体を含む個別自治会におけるICT活用によるマップ等の導入取組事例の確認・情報収集 (データ更新の簡便さ・維持費等)	情報収集・検討						
・自治連役員会などでの提案説明、モデル導入自治会の募集等 ・一部自治会での活用開始			自治連役員会への説明 一部自治会導入開始							
	57	障がい特性に応じたコミュニケーション手段を選択し利用できる環境を整備し、バリアフリー化を推進するため、窓口業務などにおいて、音声認識ソフトを活用した文字表示システムなど、ICTを活用したコミュニケーションツールの導入を検討	№7に掲載						福祉課 ◎障がい者支援課 高齢者介護課 政策研究センター	
	58	介護従事者の業務負担の軽減を図り、きめ細かな介護につなげる介護分野のICT導入を推進	・他市等の導入実績の情報収集 ・ICT導入・活用事例の相談	情報収集・相談					福祉課 障がい者支援課 ◎高齢者介護課 政策研究センター	
			・地域医療介護総合確保基金事業【県補助】の周知（ICT導入支援事業・介護ロボット導入支援事業）	地域医療介護総合確保基金事業【県補助】の周知						

基本方針③ スマートシティ化への挑戦と転換 個別施策ロードマップ

基本施策(4) ICTを活用した教育・子育てサービスの充実

個別施策	No.	主な取組	内容	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	担当課
②④ 学びの充実に 向けた教育環境の整備	59	GIGAスクール構想の実現に向けた市内全小中学校通信ネットワークの整備、児童生徒1人につき1台の端末の導入(R2年度～)	<ul style="list-style-type: none"> 職員室のWi-Fi環境の整備 一人一台端末(Chromebook)の家庭への持ち帰り 一人一台端末の更新 	環境整備	ルール作成・段階的試行	運用開始	端末更新		◎学校教育課 政策研究センター
	60	教員が情報機器を効果的に活用できるようにするためのデジタル教材や機器の整備、ICT環境の積極的な活用推進	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材の積極的な活用 <ul style="list-style-type: none"> ①児童生徒用ドリルソフト(eライブラリ) ②指導者用デジタル教科書 夏季休暇期間中での教員を対象としたeライブラリの使い方等の研修実施 	導入	活用・情報収集	実施			◎学校教育課 政策研究センター
②⑤ 安心して子育てするための支援の充実	61	子育てに関する質問に24時間365日自動回答できるAIチャットボットの導入	<ul style="list-style-type: none"> 共同調達を検討している長野県の動向確認 既存アプリ「うえだ家族」でのチャットボット構築の検討 関係課へヒアリング、庁内会議の実施 導入検討 	情報収集	検討				◎子育て・子育て支援課 政策研究センター
	62	保護者とのスムーズな連絡や保育士の事務負担の軽減が図られる連絡用アプリの導入、保育園業務を管理できるシステム、保育士が業務上の書類作成などを行うことができるタブレット端末など、公立保育園におけるICTシステムの導入	<ul style="list-style-type: none"> 一斉メール配信システム「オクレンジャー」を公立全園で導入(R3.5月) 「保育業務システム」の情報収集 <ul style="list-style-type: none"> ①ワーキンググループによる研究 ②デモ・プロポーザル等の実施、業者選定 ③試験導入、結果の検証 ④導入園を拡大し運用開始 	運用開始	研究・デモ 試験導入・検証	運用開始			◎保育課 政策研究センター